

製品名: HLA-DMβ ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12080

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	HLA-DMB DMB RING7
別名	HLA class II histocompatibility antigen, DM beta chain (MHC class II antigen DMB; Really interesting new gene 7 protein)
遺伝子 ID	3109.0
SwissProt ID	P28068
免疫原	AA 範囲: 40-100 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

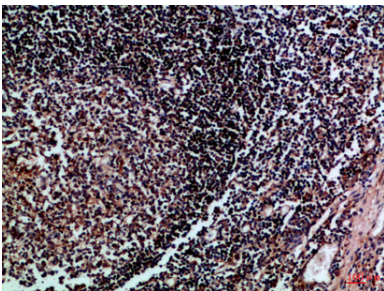
HLA-DMB は、HLA クラス II ベータ鎖パラログに属します。このクラス II 分子は、膜に固定されたアルファ鎖 (DMA) とベータ鎖

(DMB) からなるヘテロダイマーです。細胞内小胞に局在します。DM は、ペプチド結合部位から CLIP (クラス II 関連不変鎖ペプチド) 分子を遊離させることで、MHC クラス II 分子へのペプチドローディングにおいて中心的な役割を果たします。クラス II 分子は、抗原提示細胞 (APC: B リンパ球、樹状細胞、マクロファージ) で発現します。ベータ鎖は約 26~28 kDa で、その遺伝子には 6 つのエクソンが含まれています。エクソン 1 はリーダーペプチドをコードし、エクソン 2 と 3 は 2 つの細胞外ドメインをコードし、エクソン 4 は膜貫通ドメインをコードし、エクソン 5 は細胞質テールをコードします。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月], ドメイン: YXXZ (Tyr-Xaa-Xaa-Zaa、Zaa は疎水性残基) モチーフは、リソソーム区画へのターゲティングを媒介します。、機能: 新しく合成されたクラス II HLA 分子からクラス II HLA 関連不変鎖由来ペプチド (CLIP) の放出を触媒し、抗原ペプチドの獲得のためにペプチド結合部位を解放する上で重要な役割を果たします。、多型: DMB には、DMB*0101、DMB*0102、DMB*0103、DMB*0104 (DMB3.4)、DMB*0105、および DMB*0106 という対立遺伝子が知られています。示されている配列は DMB*0101 のものです。、類似性: MHC クラス II ファミリーに属します。、類似性: Ig 様 C1 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含みます。、細胞内局在: 後期エンドサイトーシス区画に局在します。リソソーム膜と結合します。、サブユニット: α 鎖 (DMA) と β 鎖 (DMB) のヘテロ二量体です。、

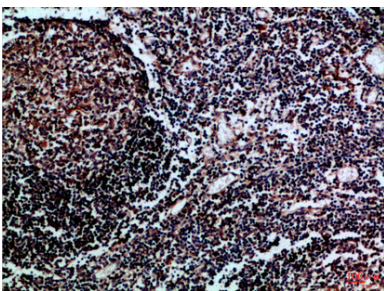
研究分野

細胞接着分子 (CAM)、抗原処理および提示、IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク、1 型糖尿病、喘息、自己免疫甲状腺疾患、全身性エリテマトーデス、同種移植拒絶反応、移植片対宿主病、ウイルス性心筋炎。

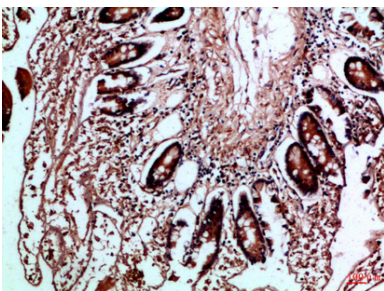
画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された

